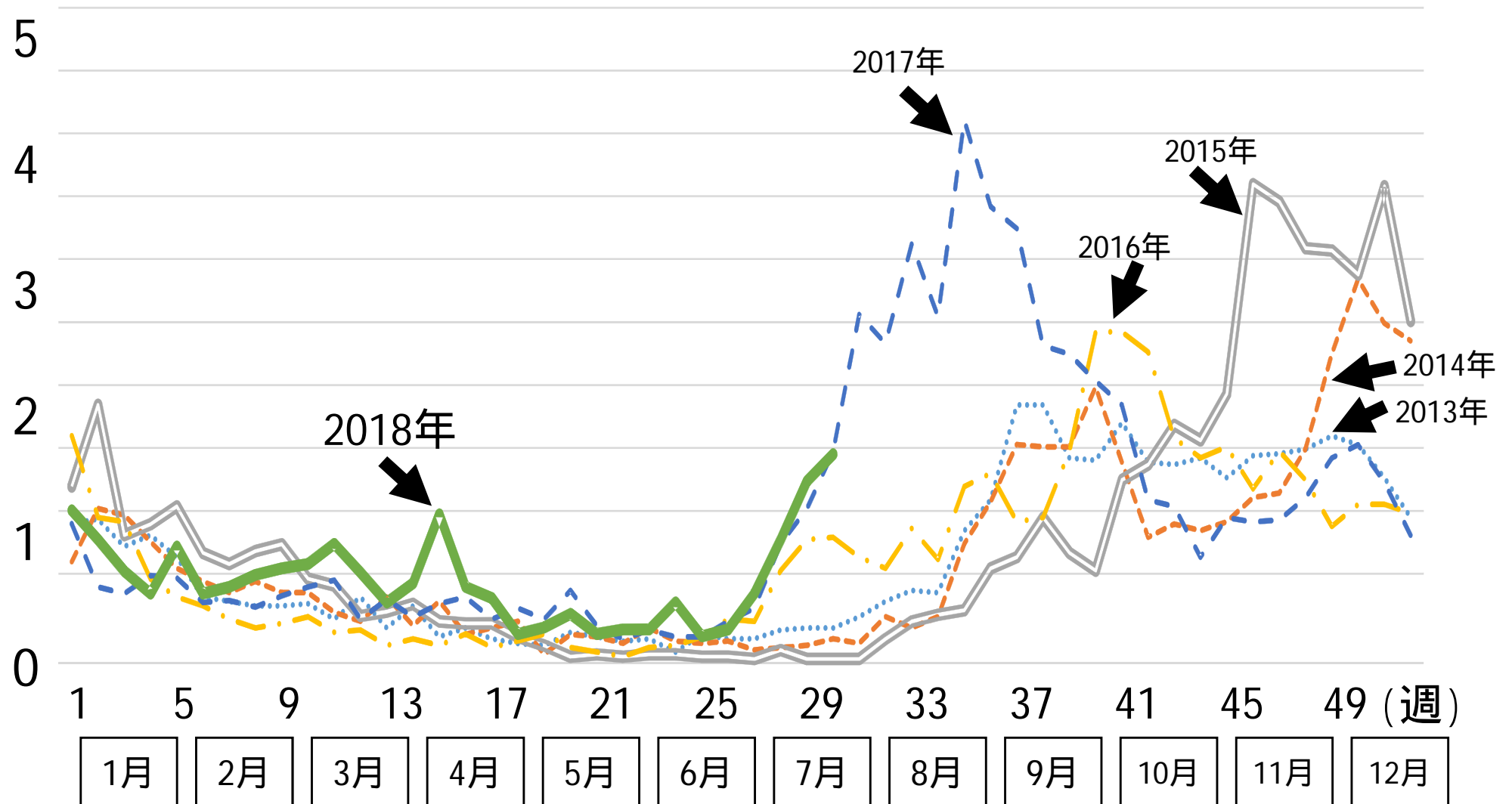


RSウイルス感染症過去5年間の推移

2018年～30週含む(大阪市・定点当たり)



「日本におけるパリビズマブの使用に関するガイドライン」の一部改訂について

2018年4月 日本小児科学会
予防接種・感染症対策委員会

用法と投与計画

改訂前	改訂後
<p>2) 用量と投与計画</p> <p>1. パリビズマブの初回投与日と投与期間</p> <p>パリビズマブの有効性を高めるためには、RSV 流行開始時までには血清抗体価を予防に必要なレベルまで高めておく必要がある。このため、初回投与は RSV 流行が開始する前に行い、流行が終了するまで継続する。</p> <p><u>日本の多くの地域では、RSV 流行期は通常 10～12 月に開始し、3～5 月に終了する。しかし、地域差があり、各都道府県において各年度の RSV 流行開始時期にばらつきがあることから、入手し得るデータを参考に、パリビズマブの投与開始時期と終了時期を決定することが重要である。</u></p>	<p>2) 用量と投与計画</p> <p>1. パリビズマブの初回投与日と投与期間</p> <p>パリビズマブの有効性を高めるためには、RSV 流行開始時までには血清抗体価を予防に必要なレベルまで高めておく必要がある。このため、初回投与は RSV 流行が開始する前に行い、流行が終了するまで継続する。</p> <p><u>各年度の RSV 流行時期は年度によって変動している。さらに、地域差があり各都道府県において各年度の RSV 流行開始時期にばらつきがあることから、<u>感染症発生動向調査等</u>、入手し得るデータを参考に、パリビズマブの投与開始時期と終了時期を決定することが重要である。</u></p>